

一般質問

5 議員が

町政を問う

右のQRコードをスマートフォンや携帯電話で読み取ると、一般質問の動画をご覧いただけます。▶
一般質問の様子はインターネットによる生中継のほか、録画中継も配信しています。議会のホームページからお進みください。



質問者（登壇順）	質問事項（通告順）	掲載ページ
高橋敬子	○財政運営をめぐる問題について ○みくまると脱炭素化モデル事業について ●新型コロナワクチンの接種について	P5
戸塚美穂	○人口減少対策について ○地域共生社会について	P6
細川恵一	○国保問題について ●マイナンバーカード問題について ○農業問題について	P7
及川ひとみ	●みくまると脱炭素化モデル事業について ○ひきこもりの支援について ○教育環境の充実について	P8
藤原恵子	○带状疱疹ワクチンの接種費用の助成について ○せせらぎ公衆トイレの改修について	P9

※次ページからの一般質問の内容は、紙面の都合上○印の質問事項を要約して掲載しています。

6月定例会の傍聴者延べ人数は21人。議会傍聴にお越しいただきありがとうございました。

一般質問とは…

議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて、事前の調査・検討に基づき疑問点を質問し、政策的な論議をする場で、まさに議員にとってのヒノキ舞台です。

紫波町議会では、1人の質問時間を答弁も含めて90分以内としています。

質問方式は一問一答方式で行い、時間内であれば質問・答弁を回数制限なく繰り返すことができます。





たかはし けいこ
高橋敬子 議員



暮らし心地の良いまちを
目指しています！

財政運営

自主財源を確保せよ

【答】 ふるさと納税を活用していく

問 歳入確保、歳出削減の考え方と交付金依存の見解は。

町長 現在ではふるさと納税制度を活用し、自主財源の確保に努めている。交付金は、国の施策と合致する事業を積極的に活用している。歳出は、事業を評価、修正し重点的かつ効率的な支出に努める。若者の移住と起業の推進、雇用の創出は。

町長 多様な学びや経験を積んだ世代が、町でチャレンジしたい、再び故郷に戻って暮らしたい、働きたいと思えるよう地域資源を生かした新たな分野の産業振興や起業支援を図り、雇用の創出につなげていく。

代表監査委員 町と同規模人口、産業構造の財政力指数を見ると95の

問 代表監査委員として財政の見解は。

うち85番目である。当局はあらん限りの知恵と工夫でいい町政ができるよう頑張っている。町の財政は平年ベースで130億円台が基本である。これが維持できているか、いなか、事業が適正か、議場で熱い議論を重ねて先を見通した慎重かつ的確な判断を期待する。

スケジュールを示せ

【答】 令和9年度までに実現を目指す

脱炭素事業



脱炭素先行地域選定証授与式
(有楽町朝日ホール)

問 みくまると脱炭素化モデル事業は、何が評価され、脱炭素先行地域に選定されたか。

町長 脱炭素先行地域評価委員会から、実現の可能性が高いことや地域の課題解決に資する取り組み、農業振興と脱炭素事業の相乗効果が期待できることが評価された。

問 民間との共同提案による強みは。

町長 各分野におけるスペシャリスト9団

体と連携し、共同提案者が持つ専門的な知見を生かすことで事業が円滑に遂行されること、強みと捉えている。

問 今後のスケジュールは。

町長 令和9年度までの5年間で脱炭素社会の実現を目指し、住民向けパンフレットの作成、相談窓口の開設、住民説明会、要望調査などを行い、今年度の後半から設備導入の申請を受け付ける予定である。

とづか みほ
戸塚美穂 議員

安心して子どもを産める環境を

【答】課題として取り組む

人口減少対策

問 人口減少対策における子育て支援は。出産や子育てに係る経済的な負担の軽減策、保育施設などの環境整備、子育て支援サービスに寄った展開などに取り組んでいる。子どもを産んでいただける環境を目指し、産婦人科医院を誘致できないか。

町長 人口減少対策における子育て支援は。出産や子育てに係る経済的な負担の軽減策、保育施設などの環境整備、子育て支援サービスに寄った展開などに取り組んでいる。子どもを産んでいただける環境を目指し、産婦人科医院を誘致できないか。

町長 以前に産婦人科はあったが、この課題は取り組んでいくと思う。

問 産んでくれてありがたうの気持ちを込め、町の特産品などをプレゼントする企画を考えられないか。

企画総務部長 取り組みには時間を要するので、他の事例も加味しながら検討する。



仲良しきょうだいカワイイ

地域共生社会

全員参加型の社会を目指せ

【答】包括的な支援に取り組む

問 「地域共生社会」をどのように考えるか。

町長 地域社会は制度や分野ごとの「縦割り」や「支える側」という関係を超えて、住民一人一人が生きがいと役割を持ち、互いに支え合うことの大切さの機運を醸成し、誰一人取り残さない地域共生社会の実現を目指していく。

問 地域福祉の視点が重要と考えるが、課題は。

町長 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療、障害福祉、介護、住まい、社会参加、地域の助け合いなどが確保され一

体的に提供される包括的な支援体制の構築が重要である。

問 町はどのように支援していくのか。

町長 分野ごとの相談窓口を設置し、それぞれの課題に対応する

ため、各部署や関係機関・団体、民生委員などあらゆる関係者と連携しながら、必要な公的サービスの提供や生活への支援に取り組んでいく。

和気あいあいとワークショップ
(福祉交流会)